北海道支部 第三次中期3カ年計画（2023年～2025年）

支部理念

生きることと働くこと 豊かに生きる 豊かに働く

中期基本方針

- ①「人間尊重」の精神に立ち、北海道で働く人々とその組織に対して、協会本部や他支部との連携を密にしながら、産業カウンセリング等を通じて、心豊かに働ける環境を作り社会に貢献する。
- ②信頼し合う組織融和を重んじ、会員相互のつながりを強化し、研鑽できる仕組みづくりを支援する。

数値目標（注記：別途設定する）

年度	会員数	賛助会員数	収支(千円)
2022年度(実績)	671	12	2,170
2023年度(実績)	670	14	+2,418
2024年度(実績)	667	14	-709
2025年度	690	19	+1,000

※注記：会員数は微増でやむなしも賛助会員は心アド活用し確実に増やす、黒字は継続

重点目標

「魅力ある会員組織となる」ために本部、支部および部の枠を超えて課題を共有し連携して行動する！

1. 会員サービスの充実
(主旨) ニーズの把握と活動・学習の場の提供（地方都市部でのリモート等を活用した講座運営、勉強会や情報交換のグループ作り支援、シニア講座の拡大等）
2. 新規会員の獲得と定着
(主旨) 多彩な背景を持った個人・企業(潜在的検討層)に各種講座・交流会や支部事業等への参画を通し働きかけ、会員登録を実現し定着いただける施策の実施等
3. 運営幹部・指導者等を担う人材の確保と育成、レベルアップ
(主旨) 支部運営に欠かせない人材を確保し研鑽できる場と仕組みの提供、認定・更新制度の設定・見直しと個人の状況に応じた関係を継続できる仕組みの構築等
4. 収支の安定
(主旨) 黒字化の定着による人的・物的資産投資の土台作り、各部主催研修の統廃合と業務重の見直し・移管の検討、本部資産・情報の積極活用での費用圧縮等
5. IT化や本部連携等を通じた業務支援の推進
(主旨) 幹部・各部の業務遂行上の課題を把握し負担軽減につながる業務支援体制の構築、会員との交流会やSNS等を通じた直接・間接ネットワークの充実と迅速でオープンな情報の提供・共有・交換への取り組み等

以上